

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月2日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 協議会場 大垣工業高等学校 本館1階 会議室
・開催にあたり、委員による授業参観を実施した
授業参観 本館4階 電子計算機室
南舎2階 高周波実習室・工作実習室
- 4 参加者
- | | | |
|-----|--------|-------------------------------------|
| 会長 | 長瀬 ちえ子 | 大垣夢ある女性の会 副代表 (欠席) |
| 副会長 | 小塚 生開 | 共立紡機株式会社 代表取締役 |
| 委員 | 松原 学士 | イビデン株式会社 人事戦略部
採用グループ グループマネージャー |
| | | 竹中 拓也 |
| | 片桐 実智 | 地域代表 |
| | 宗宮 哲也 | 本校育友会会長 |
| | 森 征美 | 本校育友会3年学年代表 (欠席) |
| | 原川 拓雄 | 大垣市立西中学校 校長 |
| | 中野 たみ子 | NPOひまわりの花 理事 |
| 学校側 | | |
| | 桐山 明宏 | 校長 |
| | 安江 博 | 副校長 |
| | 蒔田 穰 | 教頭 |
| | 田中 卓哉 | 教頭 |

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和8年度学校運営協議会 会長、副会長の選任について
- (2) 令和8年度教育指導の重点及び学校経営計画、学校運営機構について(全日制・定時制)
- (3) 学校評価アンケートについて(保護者用・生徒用)(全日制・定時制)
- (4) 特色ある取組「海外フィールドワーク」について
- (5) 委員助言・感想

意見1: 理系分野では、AIの活用や相談することが増えてきているが、高校生は氾濫する「情報」の取舍選択する判断力がついていない。AIに使われるのではなく、AIを使いこなせる生徒を育ててほしい。

意見2: 高校に入学してから3カ月から半年の過ごし方によって自分の居場所をつくれるか否かが、3年間定着できるかを決めると思う。また、毎日学校に来ることが大切で

ある。企業から見て、やはり就職する生徒は欠席の数が少ない方が望ましい。

意見3：愛知県のある工科高校では中学生に選ばれるために大学に進学できる高校だとアピールしていると聞いているが、工業高校として就職の強みを前面に出してもよい。

意見4：普通科高校より工業高校の方が楽しい風景があった。普通科高校は今も昔も変わっていないが、工業高校は時代の変化に応じた新しい技術の学びがあって社会に役立つ。会社でもスマートファクトリーが導入されていて、授業見学で見たような「画像処理」が利用されている。これからは人がやっていたことが、ロボットの仕事に置き換わるため、今の時代にマッチした学びである。

意見5：NHKのTV番組で、大学生が「手に職を付けたい」という発言をしていた。確かな技術力をもっているのは人であり、AIではできない。大学に行かなくても高校でそれを学べることは意義深い。

意見6：人のせいにして主体性のない生徒やチャレンジ精神のない生徒は成長できないので、示された学校経営計画を実践してほしい。

意見7：ものづくりは楽しい。加えて立派な社会人となるため、学校生活の中で人付き合いも学んでほしい。

意見8：新しい時代に挑戦していくのは、指導する教員も大変だと思う。授業見学では、生徒の真剣な姿を見ることができた。また真剣に取り組まなくては付いていけない程の高度な内容だと感じた。

質問1：学校としては、大学進学を選択肢としてどのように捉えているか。

⇒ 本校生徒は、就職志望が7割、進学志望が3割である。学科の学びを深める進学は勧めたい。中学生の進路選択には保護者の意向が大きく作用する。進学説明会では、中学生に受験勉強によって大学進学を目指すのではなく、部活と授業を大切にしながら大学進学を目指せると説明している。

意見9：AIの技術など新しいものが入ってくる。移り変わりの早い時代なので大変だと思う。引く手あまたの時代ではあるが、それに奢るのではなく社会人としての振る舞い、人としてどう生きていくのかを大切にしていることに感銘を受けた。

6 会議のまとめ

令和8年度の本校の教育指導の重点及び学校経営計画、運営体制や学校評価アンケートについて説明し、学校運営の基本方針について、参加した全委員の承認を得た。また、情報技術工学科や電子工学科の実習の見学の参観により、専門的な実技に取り組む生徒の姿を見ていただくことで、地域産業の担い手の育成を使命とする本校の教育活動についてより一層の理解が図られた。

昨年度、本校は創立100周年を迎え、新たな一步を踏み出す本校は、引き続き卒業生や地域の注目をされている。通常の教育活動のほか、部活動や学校行事等の特別活動についても、地域の支援をいただきながら、社会を生き抜く生徒が育成できるよう、委員には引き続き本校教育活動への理解と支援をお願いし散会した。